

本丸周辺－2

「九尺石」がどんなもので、そこに続く大谷川道がどうであったか気になっていた。

先日、「九尺石」から下る道を考えながら草を少し刈ってみた。「九尺石」の横には当時の道を思い起こさせるところがあり、それに沿って推測した。「二の丸」の下を歩くのが普通だと思うが、現在はその直線上の太い木の根元にミツバチが巣を作っているし、上から落とした木株が散乱しているのでどうしようか考慮中である。しかし、その方向性で考えると「二の丸」の一番下の石垣の上を曲がったところを通るのが普通じゃないかと思う。

「二の丸」の下は周囲を囲まれた谷である。見上げると、目の前には「二の丸」の石垣が3段、右にも2段の平地（石垣）が見られる。そして、開けた谷の上には「九尺石」が聳え立ち、城に向かう気持ちを高める。

また、ここには周囲の石垣から崩れ落ちた石がたくさん転がっている。付近には広い平地が連続し、石垣の残るところもある。ここから左上方に「西の丸」、「桜の馬場」、「本丸」と続く石垣を見上げながら進めば駐車場に出る。



想像図



尾根道も気になるが・・・

今年も梅雨明け前に長雨が続き、谷筋の崖がさらに大きく崩れた。豪雪と豪雨で今まで何とかしがみつきのながら上った谷も上りようがなくなり、谷筋は崩れ落ちた木々と土砂で随分と時間がかかってしまうようになった。

一方、尾根道も歩く回数が減り、笹やつる性植物がはびこり歩きにくくなっている。「七尾城まつり」までには少しは歩きやすくしたいと考えている。

日陰の道に咲いていたイチヤクソウの花